

# 令和2年 第12回(令和2年10月14日 開催) 四日市市教育委員会会議の概要について

## <議 事>

- 協 議 ・ 令和2年度の教育委員会における点検及び評価について  
・ 次期四日市市教育大綱の改訂に向けて  
・ 小学校給食について
- 報 告 ・ 令和2年8月定例月議会の報告について  
・ 今後の小中学校におけるICTを活用した学びについて  
・ 学校プール運営事業のあり方について

## 議事概要

### ○協議

- ・ 令和2年度の教育委員会における点検及び評価について  
教育委員会が毎年実施している教育施策の点検・評価の、令和2年度の施策評価重点項目(案)について協議を行いました。

#### ◇施策評価重点項目(案)

- 基本目標1 確かな学力の定着 (ICTを活用した教育の充実・発展)
- 基本目標1 確かな学力の定着 (問題解決能力向上のための授業づくり)
- 基本目標2 豊かな人間性とコミュニケーション能力の育成 (人権教育の充実)

### <委員からの主な意見>

- ・ 問題解決能力の向上や人権教育の充実を推進するために、ICTは重要なツールとなる。そのため、「ICTを活用した教育の充実・発展」を中心として、施策評価重点項目を決めた方が良い。
- ・ 現在、各校にタブレット端末の導入を進めている段階であり、令和3年度には、児童生徒に対し一人一台タブレット端末が導入されることになる。学校によって活用状況は異なり、小学校と中学校においても利用方法等が異なるため、そのような状況も踏まえ、視察先を検討する必要がある。
- ・ コロナ禍において、学校現場は、手探りで教育活動を行っている状況にある。そのため、施策評価委員が学校現場を視察することによって、今後、学校が取り組むべき目標を示すことができるのではないか。
- ・ 次期四日市市教育大綱の改訂に向けて  
次期四日市市教育大綱に盛り込むべき考え方や大綱に基づいて取り組むべき施策等について、協議を行いました。

### <委員からの主な意見>

- ・ 家庭環境等の影響もあり、地域活動が形骸化してきている。そのため、コミュニティスクールがリーダーシップを発揮し、学校・地域・保護者を巻き込んだ取組を進めていく必要がある。
- ・ 今後、教師による対面指導とオンライン教育が組み合わせられることにより、教育環境は大きく変化することになるが、学校教育において、協働的な学びを充実させることは大切である。
- ・ 健康教育や食育の充実に関して、まだまだ朝食を食べずに登校する子どもがいる。学校においては、食育に関する授業や研修を実施していると思うが、保護者に対して食育の重要性を説明できるような機会を設けることも大切である。

## 四日市市教育委員会 教育総務課政策グループ

〒510-8601 四日市市諏訪町1-5

電話: 059-354-8237 FAX: 059-354-8308

電子メール: kyouikusoumu@city.yokkaichi.mie.jp